

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会福祉概論 Introduction to social welfare		1年	前期	月曜日 1時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (栄養士資格必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会保障 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
老人福祉論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟 2階 研究室	月・木・金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
社会福祉の意義・理念・方法等について学習し、現代社会における社会福祉の実態を理解する。具体的には社会福祉の法体系・制度・財政全体の要旨を学習すると共に、福祉従事者としての倫理・援助技術等を学習する。また、栄養士として高齢者施設等へのために介護保険制度の概要について学習する。				
授業の到達目標				
①現代社会における社会福祉の意義・理念について理解できるようにする。 ②社会福祉の基盤としての所得保障・医療保障及び介護保険制度について理解できるようにする。 ③関連領域として住宅・雇用等の関連制度の概要を理解できるようにする。 ④福祉従事者としての倫理について理解できるようになる。				
授業の方法				
講義を中心に進め、視覚教材を活用し実践場面を理解させる。授業終了後小レポートの提出を求め、理解度を把握する。				
学習の成果				
①国民の生活と社会保障・福祉の関連性を理解することができる。 ②介護保険制度を中心として高齢者福祉サービスを理解することができる。 ③社会福祉従事者としての倫理・援助技術の概要を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、留意事項、成績評価等) 現代社会と社会保障、福祉の機能について			
第2回目	社会福祉の概念とその概要 (社会福祉の意義・理念・定義・人権尊重・権利擁護・自立支援等) 及び対象者と主体について			
第3回目	社会福祉の発展 (欧米と日本における社会福祉の歴史と展開)			
第4回目	社会福祉法制の体系と運営組織及びサービスの提供と利用			
第5回目	社会福祉の財政と費用負担			
第6回目	社会福祉における公私の役割及び調整			

第7回目	介護保険制度の概要及び障害者福祉制度の概要		
第8回目	所得保障制度 (生活保護・年金) 及び医療保障制度の概要 レポート作成「これまでの社会福祉、これからの社会福祉について」		
第9回目	雇用・就労制度及び住宅制度の概要		
第10回目	社会福祉援助技術 (その発展と動向と活用)		
第11回目	高齢者・障害者の心理的的特性の理解とその援助		
第12回目	居宅サービスと施設サービスの在り方		
第13回目	地域福祉の推進 (概念・内容と推進組織・担い手・地域福祉計画)		
第14回目	社会福祉従事者の概要 (専門性と職業倫理・福祉資格の職務と内容)		
第15回目	まとめ～これからの社会福祉の動向～ 定期試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	授業態度、出席状況等により総合的に判断する
	レポート	10%	第1回～第8回までの講義内容に関するレポートとする
	調査報告書		
	小テスト		
	中間・学期末試験	70%	論文 (記述式) とする
	発表内容 (態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書: 「よくわかる社会福祉」 ミネルヴァ書房 参考書・参考資料: 授業の都度指示、資料を配布する			
履修上の心得・ルール			
社会福祉の基礎的な科目であり、年金・医療・福祉・介護等の情報の収集を図ること			